

ぼくらの大発見！われら砂防堰堤探検隊！ ～小学生を対象に、関係機関合同で現地講座を実施～

砂防災害課・盛岡広域振興局土木部岩手土木センター

岩手県では、岩手河川国道事務所及び関係市町と合同で、次代を担う小学生を対象に、八幡平山系における土砂災害（火山噴火）の発生メカニズムや、地域の安全を支える砂防施設の役割を理解し、災害から自らの命を守る知識を習得することを目的に、『砂防堰堤探検隊』を平成8年度から開催しています。

今年度は、7月2日に雫石町立西山小児童29名、7月24日に盛岡市立好摩小児童33名が探検しました。

砂防堰堤の効果を確認！

探検隊は、まず、八幡平市の「イーハトーブ火山局」で火山について学習しました。岩手山で近年噴火の可能性が高まったこと、噴火した場合に発生する土砂災害を動画で体感しました。

次に、火山災害による被害を軽減するために、国や県が砂防堰堤を設置していることや、砂防堰堤の効果を実験で学びました。また、砂防堰堤などのハード対策だけでなく、災害時の避難がとても重要であることも学びました。



▲開会式（イーハトーブ火山局にて）



▲砂防堰堤の効果を実験で確認！

溶岩流を探検！

そして、特別天然記念物に指定されている焼走り溶岩流に移動し、290年前の噴火の爪痕がそのまま残る景観を眺めながら、岩手山の美しさと火山の脅威を肌で感じました。



▲焼走り溶岩流の成り立ちを学ぶ探検隊



▲岩手山と焼走り溶岩流

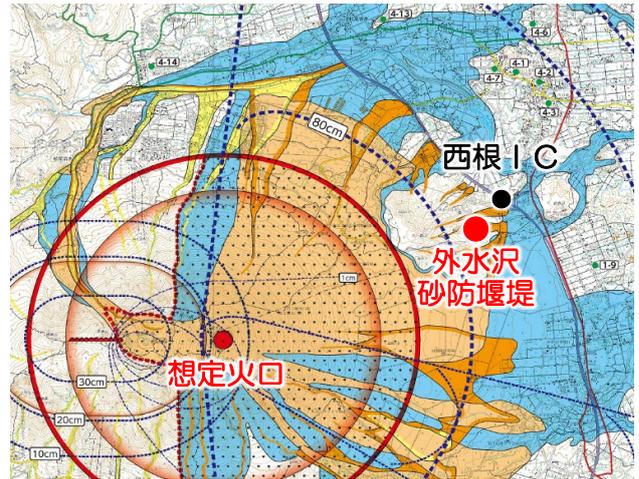
砂防堰堤の工事現場を見学！

最後に、岩手土木センターが施工中の「外水沢火山砂防堰堤」の工事現場を見学しました。

現場では、砂防堰堤の築造に先立ち、地盤改良（中層混合処理）を進めているところです。

探検隊からは「岩手山は次にいつ噴火するのか？」「命を守るためにはどうすればいいのか？」「どんな時に土砂災害が起こりやすいのか？」など、たくさんの質問がありました。

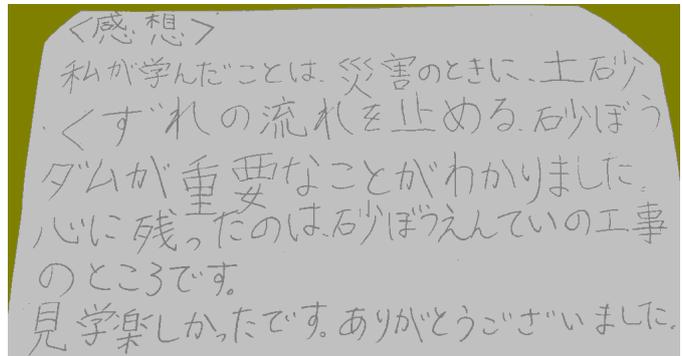
今後も、多くの探検隊を現場にご案内し、関係機関とともに防災意識の啓発に努めていきます。



▲岩手山の想定火口と外水沢砂防堰堤の位置
(岩手山火山防災マップから抜粋して作成)



▲修了証書と記念品を贈呈！



▲探検隊からの御礼の手紙



▲工事現場をバックに記念撮影！